

2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社サイトリ細胞研究所

上場取引所

東

コード番号 3750

URL https://www.cytori.co.jp/

2024年2月9日

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 星野 喜宏 (氏名) 藤村 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

TEL 03-6860-5701

四半期報告書提出予定日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,411	14.5	494		595		552	
2023年3月期第3四半期	1,651	58.9	515		601		722	

(注)包括利益 2024年3月期第3四半期

552百万円 (%) 2023年3月期第3四半期

722百万円 (%)

潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 1株当たり四半期純利益 円銭 円銭 2024年3月期第3四半期 61.90

2023年3月期第3四半期 80.95

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2024年3月期第3四半期	13,739	2,104	13.7	211.52
2023年3月期	14,091	2,656	17.3	273.41

(参考)自己資本

2024年3月期第3四半期 1,888百万円

2023年3月期 2,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭				
2023年3月期		0.00		0.00	0.00				
2024年3月期		0.00							
2024年3月期(予想)									

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年 3月期の連結業績予想(2023年 4月 1日~2024年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	売上高 営業利益		引益	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,790	16.5	21		80		30		3.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	8,929,419 株	2023年3月期	8,929,419 株
2024年3月期3Q	1,050 株	2023年3月期	925 株
2024年3月期3Q	8,928,407 株	2023年3月期3Q	8,928,555 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想値と大き〈異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1)四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日~2023年12月31日)のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和により個人消費やインバウンド需要が回復したものの、資源価格の高騰や物価の上昇等により先行きは依然不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、事業基盤の整備・拡充、ならびに事業領域における競争力強化、収益性の向上に注力し、積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における連結売上高は1,411百万円(前年同四半期比 14.5%減)、営業損失は494百万円(前年同四半期 営業損失515百万円)、経常損失は595百万円(前年同四半期 経常損失601百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は552百万円(前年同四半期 親会社株主に帰属する 四半期純損失722百万円)となりました。

なお、第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったホテルKANAZAWA(同)は、当社の連結子会社であるホテル金沢㈱を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

また、当社の連結子会社であるホテル金沢㈱が新設分割により設立した㈱ホテル金沢を第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(メディカル事業)

当第3四半期連結累計期間におけるメディカル事業は、医療機器として認可を受けたセルーション遠心分離器と高度管理医療機器クラスIIIとして認可を受けたセルセラピーキットを国内の医療機関へ積極的に販売をしてまいりましたが、アライアンス先の選定及び細胞治療サービスの提供開始が当初想定より遅れていること等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は101百万円(前年同四半期比20.1%減)となり、営業損失417百万円(前年同四半期 営業損失223百万円)となりました。

(リアルアセット事業)

当第3四半期連結累計期間におけるリアルアセット事業は、ホテル業において新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していた宴会・宿泊売上が前年に比べ大幅に回復したものの、前期のような匿名組合出資持分の譲渡による売上計上はありませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間のリアルアセット事業の売上高は1,309百万円(前年同四半期比14.1%減)となり、営業利益57百万円(前年同四半期 営業損失176百万円)を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,208百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少によるものであります。固定資産は12,530百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円減少いたしました。これは主に減価償却費及びのれんの償却によるものであります。

この結果、総資産は13,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ352百万円減少いたしました。

(負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,231百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,057百万円増加いたしました。これは主に、信託受益権譲渡契約に伴う前受金の受け入れによるものであります。固定負債は9,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ857百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済によるものであります。

この結果、負債合計は11,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円増加いたしました。

(純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,104百万円となり、前連結会計年度末に比べ552百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は13.7%(前連結会計年度末は17.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	共生化人打左左	小 夜 ら 凹 木 和 半 个 ケ 当 ま 田田
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 123, 050	715, 804
信託預金	_	119, 906
売掛金	113, 144	120, 263
商品	116, 211	140, 669
その他	35, 793	111, 733
流動資産合計	1, 388, 200	1, 208, 376
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	4, 231, 334	954, 324
土地	7, 252, 244	3, 380, 698
その他(純額)	243, 607	235, 068
信託建物 (純額)		3, 145, 729
信託土地	_	3, 871, 546
有形固定資産合計	11, 727, 186	11, 587, 367
無形固定資産		,
のれん	647, 145	612, 696
その他	41, 682	31, 842
無形固定資産合計	688, 828	644, 539
投資その他の資産		298, 825
	287, 419	
固定資産合計	12, 703, 434	12, 530, 733
資産合計 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	14, 091, 635	13, 739, 109
負債の部		
流動負債		
短期借入金	500, 000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	401, 237	418, 765
その他	272, 386	1, 312, 331
流動負債合計	1, 173, 624	2, 231, 096
固定負債		
長期借入金	7, 605, 855	6, 843, 099
匿名組合出資預り金	1, 078, 884	1, 062, 602
繰延税金負債	1, 436, 377	1, 454, 356
その他	140, 212	43, 417
固定負債合計	10, 261, 328	9, 403, 475
負債合計	11, 434, 953	11, 634, 572
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100, 000
資本剰余金	2, 939, 268	2, 939, 268
利益剰余金	△596, 921	$\triangle 1, 149, 556$
自己株式	△1, 240	$\triangle 1,375$
株主資本合計	2, 441, 106	1, 888, 336
その他の包括利益累計額	=, 111, 100	1, 200, 000
その他有価証券評価差額金	66	163
その他の包括利益累計額合計	66	163
新株予約権		
	211, 501	211, 501
非支配株主持分	4,007	4, 535
純資産合計 4 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2, 656, 682	2, 104, 537
負債純資産合計	14, 091, 635	13, 739, 109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

		(単位:下円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1, 651, 836	1, 411, 589
売上原価	737, 921	255, 619
売上総利益	913, 914	1, 155, 969
販売費及び一般管理費	1, 429, 743	1, 650, 601
営業損失(△)	△515, 828	△494, 631
営業外収益		
受取保険金	-	3, 085
助成金収入	22, 758	1,300
利子補給金	4, 527	4, 259
その他	4, 370	10, 805
営業外収益合計	31, 657	19, 451
営業外費用		
支払利息	92, 478	118, 621
アレンジメントフィー	25, 000	_
その他	177	1,650
営業外費用合計	117, 656	120, 272
経常損失 (△)	△601, 827	△595, 452
特別利益		
債務免除益	-	48, 441
その他	0	-
特別利益合計	0	48, 441
特別損失		
関係会社出資金売却損	107, 628	-
減損損失	6, 295	-
和解金	-	1,700
その他	2, 374	274
特別損失合計	116, 298	1, 974
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純損失 (△)	△718, 125	△548, 986
匿名組合損益分配額	△8, 093	△16, 282
税金等調整前四半期純損失 (△)	△710, 032	△532, 703
法人税、住民税及び事業税	1, 451	1, 475
法人税等調整額	11, 218	17, 928
法人税等合計	12, 670	19, 403
四半期純損失(△)	△722, 703	△552, 107
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	528
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△722, 800	△552, 635
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純損失(△)	△722, 703	△552, 107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35	97
その他の包括利益合計	35	97
四半期包括利益	△722, 668	△552, 010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△722, 765	△552, 538
非支配株主に係る四半期包括利益	97	528

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による影響

当第3四半期累計期間において、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方、収束時期やその影響の程度の 見積り及び判断の基となった仮定について、前連結会計年度から重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	幸	報告セグメント			
	メディカル事 業	リアルアセッ ト事業	計	その他 (注) 1	損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
メディカル	127, 644	_	127, 644	_	127, 644
ホテル業	_	776, 553	776, 553	_	776, 553
不動産業	_	722, 784	722, 784	_	722, 784
顧客との契約から生じる収益	127, 644	1, 499, 337	1, 626, 982	_	1, 626, 982
その他の収益		24, 853	24, 853	_	24, 853
外部顧客への売上高	127, 644	1, 524, 191	1, 651, 836	_	1, 651, 836
セグメント間の内部売上高又は振 替高	_	_	_	_	_
計	127, 644	1, 524, 191	1, 651, 836	_	1, 651, 836
セグメント損失(△)	△223, 616	△176, 272	△399, 889	△115, 939	△515, 828

⁽注) 1 セグメント損失の調整額△115,939千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、 主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

² セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	幸	B 告セグメン		四半期連結	
	メディカル事 業	リアルアセッ ト事業	計	その他 (注) 1	損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
メディカル	101, 997	_	101, 997	_	101, 997
ホテル業	_	1, 059, 534	1, 059, 534	_	1, 059, 534
不動産業	_	193, 440	193, 440	-	193, 440
顧客との契約から生じる収益	101, 997	1, 252, 974	1, 354, 972	_	1, 354, 972
その他の収益	_	56, 616	56, 616	_	56, 616
外部顧客への売上高	101, 997	1, 309, 591	1, 411, 589	_	1, 411, 589
セグメント間の内部売上高又は振 替高	_	_	_	_	_
計	101, 997	1, 309, 591	1, 411, 589	_	1, 411, 589
セグメント利益又は損失(△)	△417, 964	57, 698	△360, 265	△134, 365	△494, 631

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△134,365千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、継続して営業損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。このような状況の解消を図るべく、当社グループでは医療機器の販売を中心とするビジネスモデルから細胞治療を主軸とした医療サービスへのシフトを加速し、収益の改善に取り組んでまいります。

資金面につきましては、当第3四半期連結会計期間末において、835百万円の現金及び預金を保有しており、当面の事業資金を確保しております。また、保有不動産の売却を進めて資金を確保してまいります。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。